

NEWS RELEASE

平成14年1月31日
日立ビジネスソリューション株式会社

日立ビジネス

砕石場向け「入出荷重量自動計測システム」を完成 - 藤坂砕石工業株式会社葛生工場で稼働開始 -

日立ビジネスソリューション株式会社（本社：神奈川県横浜市 鴨川和正社長 資本金：35億6千万）では、テクノマインド株式会社（本社：東京都新宿区 竹中孝夫社長）と共同で砕石場向け入出荷重量自動計測システムを開発し、藤坂砕石工業株式会社葛生工場（栃木県安蘇郡葛生町 山野井祥二代表取締役）で平成14年1月より稼働させた。

このシステムは、入場時に車両重量を自動計測すると共に、車両のナンバープレート及びマークシートから商品、数量等を自動的に読み取り、無線を利用して積込現場に積込指示を送信する。商品積込後退場口で再度車両重量を計測し、その差を実数量として伝票を自動発行するものである。

従来に比べ重量計測時間の短縮（2倍）、無線情報の処理能力向上（20%アップ）、オペレータの介入操作を少なくすることができ、これにより繁忙時の1日約1,500台の入場車両を処理することが可能となった（従前は1,000台未満）。また、グループ会社は、リアルタイムで商品の販売状況、場内に滞留している車両情報等が閲覧でき、顧客への情報提供、需要予測に対応したシステムとなっている。

また、藤坂砕石工業株式会社葛生工場では襲雷警報機を備え独自の雷雲検知をおこなうと共に、事務所及び入退場口周囲に防雷設備を配置、入退場口と事務所間を地下光ケーブルで接続する等防雷面でも充分配慮したものとなっている。

日立ビジネスソリューション株式会社では、「入出荷重量自動計測システム」の需要は砕石場のみならず、倉庫業、運輸業等幅広く応用可能と考え今後類似システムの開発・受注を目指している。

1. システムの特徴

(1) 入退場口での停車時間が大幅短縮

各入退場口毎の専用コンピュータで、トラックの重量計測とナンバー及びマークシートの読み込みを並行的に処理するため、入退場口でのトラックの停車時間を従来より大幅に短縮できた。また、各入退場口毎に専用コンピュータを導入したことにより入退場口の部分障害が全体障害とならない縮退運転を可能とした。

*縮退運転：システム機能の一部が欠けた状態でもその他の機能に影響を及ぼさないよう運転続行すること。

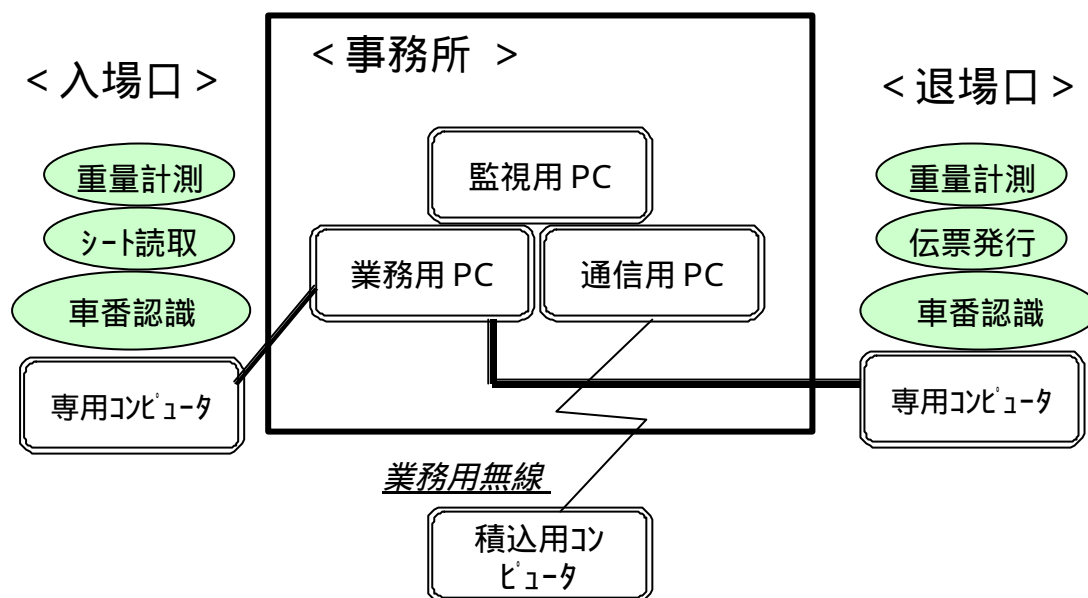
(2) 複数PCでオペレーションが可能

事務所内には、業務用、通信用、監視用の3台のPCがあるが、通信用、監視用PCでも業務が可能であり、繁忙時間帯のオペレーションを複数の人が分散して処理可能とした。また、1台のPCで4箇所の入退場口の指示を同時に行うこともできる最適な操作性を提供できた。

(3) トラックの積載待ちを解消

入場口で取得した情報は直ちに積込現場に無線で伝送するため、積込現場にトラックが到着するまでに指示情報が届き、積込み場所でのスムーズな運用を可能とした。

2. システム構成



3. システムの販売目標

平成14年度に5システムの販売を目指しています。

4. 販売元

日立ビジネスソリューション株式会社

以上

日立ビジネスソリューション株式会社 システム営業部

〒231-0015 横浜市中区尾上町六丁目90番地

電話(045)651-5211(代表)

FAX(045)671-0912

URL <http://hitachi-business.com>